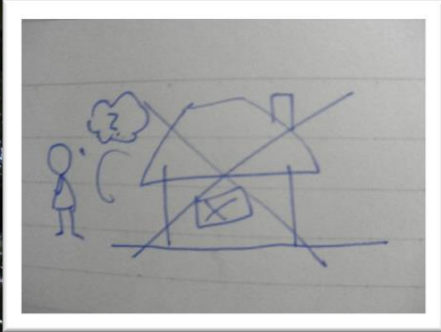


## 公園事業の使用例



土地と建物を相続したAさん。さて、売却するか？リフォームして自分で住むか？賃貸に出すか？しかし、昔は1000人住んでいた町だったが、今は、50名足らず。町には愛着はあるけれど、正直、不動産としての魅力はすっかりなくなっている。



そこで、公園事業に貸し出すことにしました。



貸し出した土地は、ガーデニングデザイナーにより公園となりました。日当たりもよく、太陽光パネルを使った発電も順調なようです。周辺に住む、子供やお年寄りの憩いの場所となっている

## ユーザーの声



そのままにしてしまうと、木々や家屋のメンテナンスが必要になりますが、公園事業に貸し出せば、管理は、事業者が行い手間が入りません。月々、借地料が振り込まれ、固定資産税、都市計画税の納税も行えます。さらに、周辺住民の憩いの場となり、土地にいい印象を与えることができます。

私たちは、お客様から土地をお借りし、その上に、ガーデニングを行い公園として管理運営を行います。土地所有者様には、月々借地料をお支払いいたします。お借りした土地の上に、ソーラーパネルを設置し、売電ビジネスを行います。万が一の際にお役に立てるよう、将来的には、地域の非常用の電気を蓄電出来るシステムをしたためています。ガーデニングを施した、木々の実や花は、webやアプリで会員登録(有料月々300円を予定)をして頂ければ、全国のどなたでも、お持ち帰りいただけます。

## 事業者の声

